

## 栃木中央地域包括支援センター 担当

日 時： 令和8年1月20日（火）午後2時05分～2時30分

会 場： 栃木市役所 401 会議室

事例数： 1 ケース（令和7年7月15日検討した事例の振り返り）

参加者数： 10 名

事例提供者 1 名、助言者 6 名、包括職員 2 名、傍聴者 1 名

**転倒リスクが高く、運動や交流への意欲が低下している87歳女性。**

**<目標> 1日:体調の良い日はスーパーへ買い物に行く**

**1年:体調を維持して1年後も今の生活が維持できる。**

**利用サービス:介護予防通所リハビリテーション、福祉用具貸与**

### 《前回会議での支援策》

#### 支援方針

- ・転倒予防を目的とした自宅内の住環境整備を行う。
- ・家族の協力を得ながら、受診の助言を行い疾患の状況を明確にする。
- ・家族と一緒に家事を行えるように促す。
  - ① 転倒の原因は下肢筋力の低下の他、脳や視力など様々な疾患の影響もあるので主治医に相談する。
  - ② オーラルフレイルが始まっている可能性があるので、口腔機能検査が受けられると良い。
  - ③ 義歯が入っていれば噛み締めることで力が入りやすいため、転倒予防になる。
  - ④ 薬を目に付くところに置くことや、服薬時間にアラームをかけると本人の気付きになる。
  - ⑤ 動線に物を置かないようにして、転倒をしない住環境整備が重要。
  - ⑥ 骨を強くするにはビタミンやカルシウムが含まれる食材の摂取が重要。

### 《支援結果・状況》

- ①未達成:繰り返している転倒については主治医に相談していない。
- ②③未達成:歯科受診、義歯の装着ともに出来ていない。義歯無装着の原因や嚥下機能について検査できるため、再度受診を推奨する。オーラルフレイルを予防するためにも義歯の装着を促すことが必要。
- ④未達成:服薬できているのかを確認できていない。薬について本人が理解できているのかが重要となる。主治医とのコミュニケーションが図られていない可能性がある。
- ⑤未達成:デイケアで歩行器を試したがうまくいかなかった。今後、上腕支持タイプの歩行器を検討してはどうか。
- ⑥未達成:夫が調理しているため、簡単なものになっている。